

こうざえもんつうしん 平成27年9月13日
講左衛門通信 第52号

発行 天台宗忍草山東円寺
〒401-0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555-84-4114



『今日は、8月23日に行われた、御内八海道供養碑奉賛会主催のお祭りの話をするようになっておったな。クニマッスンおさらいじゃ。御内八海道供養碑が、どのように発見されたか覚えているかのう。』

『覚えているでまっすん。道路の拡張工事をしていると、土の中から大きな石碑がでてきたでまっすん。驚いた町内の有志が集い、この石碑が、どのような理由で建立されたのか、研究が始まったでまっすん。』

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

『よく覚えておったな。ご先祖様が建立した石碑を、子孫に語り継ぐために「御内八海道供養碑奉賛会」が立ち上がったんじゃよ。当時の会長さんは御年90歳だったぞ。現在も元気に頑張っておると聞いているぞ。さて、大我

講の石碑は、身延町だけではなく、市川三郷町にあるという話をしたんじゃが、今まで知られていなかった大我講の石碑が確認されておるようじゃ。町の公民館に、幾つもの石碑の写真が飾れておったぞ。写真にある石碑の中には、わしの知らない石碑もあったんじゃよ。近いうちに、石碑の所在の確認をしなければいけないな。お祭りはとても盛況だったぞ。何事も同じことなんじゃが、継続することが大切なんじゃよ。継続することで、人の心に残るんじゃよ。』

『今生きている人々が、忘れないように未来に残す方法を考えなくてははいけないでまっすん。』

『わしは、9月4日に、静岡県立美術館で開催する、「世界文化遺産登録記念 特別展 富士山一信仰と芸術」の開会式に参加してきたんじゃ。この展示会は、山梨と静岡両県が総力を挙げて開催した展示会なんじゃ。世界文化遺産となった時から企画をしていたというんじゃから、準備期間も長かったんじゃ。展示会の開会セレモニーに初めて参加したんじゃが、展示会を開催するまでの熱い思いが、静岡県知事を初めとする主催者の挨拶に込められていたぞ。出展されている絵画や仏像は、厳選されたものばかりだったんじゃ。静岡県立美術館は、天井がとても高くてな、その広い空間に、ゆったりと作品が展示してあったんじゃ。その厳選された展示物の中に、東円寺の聖観音様と大日如来様が出展されていることの意味は、重いと思うんじゃよ。富士山と深い関わりがある証拠じゃからな。何よりの宝は、特別展の図録じゃ。図録というのは、必ず展示会場の売店で販売されているんじゃよ。なぜ宝であるかという、図録には、必ず、展示された歴史背景が、それぞれの専門家である学芸員によって記されているんじゃよ。その記述が、展示されたものの価値を高めるんじゃ。記述の中には、とても興味深いものがあつたんじゃが、今回は、図録に記された記述を紹介しようと思っておるぞ。』

『それは楽しみでまっすん。文化財というのは難しい分野でまっすん。なぜ、富士山が世界文化遺産になったのか。地元の人々が知ることはいいことでまっすん。』

『興味を持ってくれる人が増えるといいんじゃが...』

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定